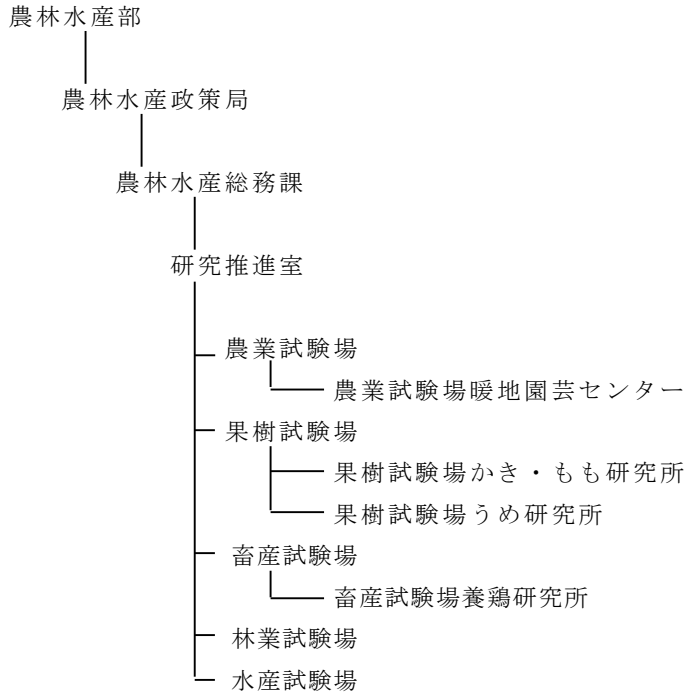


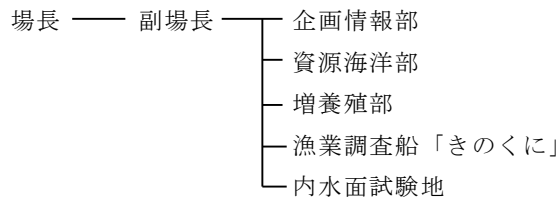
水産試験場概要

I 機構と組織

1. 機構



2. 内部組織



3. 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場長		1		1
副場長		1		1
企画情報部		2	2	4
資源海洋部		5		5
増養殖部	1	5		6
漁業調査船	8			8
内水面試験地		4		4
	9	18	2	29

4. 職員と職務分担

部 名	職 名	氏 名	事務分担
	場 長	小久保 友義	場の総合企画及び総括に関する事
	副場長	小川 満也	場長の補佐, 人事, 服務, 庁舎の管理, 予算の総括に関する事
企画情報部	部 長	葦澤 崇博	部の総括・企画調整, 流通対策, 魚礁調査, 庶務, 成果の公表・普及に関する事
	主任研究員	木下 浩樹	藻場造成(ホンダワラ類)・食害対策に関する事
	用務員	田中 千秋	庁舎内の清掃に関する事
	用務員	田所 恵子	〃
資源海洋部	部 長	武田 保幸	部の総括・企画調整, 漁海況速報に関する事
	主任研究員	中地 良樹	漁業資源・漁場調査と情報提供(総括), 海洋観測に関する事
	主査研究員	原田 慈雄	卵稚仔調査, まき網漁業, 魚群探知機に関する事
	主査研究員	御所 豊徳	高精度海況図, 海況日報作成, 船びき網漁業, 高度回遊性魚類(マグロ類)に関する事
	研究員	小林 慧一	高度回遊性魚類(カツオ), カツオマップに関する事
増養殖部	部 長	奥山 芳生	部の総括・企画調整, 飼育施設等の保守管理に関する事
	主査研究員	堅田 昌英	水産衛生対策, 漁場環境(赤潮・貝毒)に関する事
	主 査	佐々木 明生	調査研究の補助, 船舶「なぎ丸」・海上筏の管理に関する事
	主査研究員	白石 智孝	藻場造成(コンブ目), スマの種苗生産・養殖に関する事
	副主査研究員	加藤 文仁	魚類種苗生産・養殖, 栽培漁業に関する事
	研究員	北村 章博	漁場環境(生物モニタリング), 介類増養殖に関する事
漁業調査船 (きのくに)	船 長	伊勢谷 俊人	船舶の管理・運航, 海洋観測調査, 飼育施設等の保守管理に関する事
	機関長	濱口 尚信	〃
	主査航海士	小西 寛弥	〃
	主査機関士	平見 謹一	〃
	主査航海士	河田 進一	〃
	主査機関士	堀 浩一	〃
	副主査航海士	住谷 勝志	〃
	副主査機関士	清野 茂	〃
内水面試験地	主任研究員	林 寛文	ウナギ資源に関する事
	主査研究員	高橋 芳明	アユ資源, 施設の整備, 業務全般の補助に関する事
	副主査研究員	河合 俊輔	水産衛生対策, アユ冷水病対策に関する事
	副主査研究員	中西 一	アユ飼育試験に関する事

II 業務

1. 試験研究項目一覧

事業名又は課題名	予算額	財源内訳			
		国庫	使用料・手数料	諸収入	一般財源
水産試験場費	67,246	25,327	1,895	337	39,687
水産試験場運営	20,927			337	20,590
内水面試験地運営	4,497		1,895		2,602
調査船運航	4,848				4,848
藻場再生をめざした「ブダイ」の食害対策技術の開発	2,293				2,293
地域で取り組めるヒジキ種苗生産技術の開発	1,212				1,212
漁業資源・漁場調査と情報提供	13,698	13,698			
高度回遊性魚類調査	7,498	7,498			
イワシ・アジ・サバ類の漁場形成機構の解明と魚群速報の発信	2,188				2,188
水産重要種の移動・回遊状況に関する基礎研究	413				413
スマの種苗生産および中間育成に関する低コスト化技術開発	2,522				2,522
水産衛生対策	1,800	900			900
病害微生物モニタリングのための基礎研究	500				500
海域の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響調査	2,000	2,000			
アユ資源量に関する基礎調査	487				487
河川及び海域での鰻来遊・生息調査	1,231	1,231			
アユ種苗における冷水病対策技術の開発	1,132				1,132
水産業振興費	2,204	20			2,184
資源管理・回復推進（資源管理課）	1,364				1,364
漁場環境保全等モニタリング（資源管理課）	172	20			152
栽培漁業推進（水産振興課）	668				668
漁業調整費	54				54
漁業・遊漁調整（資源管理課）	54				54
漁業構造改善費	880				880
漁場効果調査（水産振興課）	780				780
プエルルス調査（水産振興課）	100				100
	70,384	25,347	1,895	337	42,805

Ⅲ 業績

1. 外部に発表した事項

(1) 一般雑誌

題 名	発 表 者	発 表 誌
・「紀州仕立て鮎」でPRする和歌山県低魚粉・冷水病ワクチン研究も実施	河合俊輔	養殖ビジネス 2016年7月号

(2) 書籍

なし

(3) 学会等の発表

題 名	発 表 者	発 表 誌
・ LAMP 法による粘液胞子虫性やせ病原因虫の検出	堅田昌英 奥山芳生	平成 29 年度日本魚病学会春季大会（口頭発表）
・ スマの養殖技術の開発-5 生餌（なまえ）を使用しないスマ種苗生産および中間育成技術の開発	白石智孝 加藤文仁 奥山芳生 小久保友義 東剛久 ^{※1} 有本一平 ^{※2} 土岐隼一 ^{※2} 矢澤良輔 ^{※2} 竹内裕 ^{※3}	平成 29 年度日本水産学会春季大会（口頭発表）
・和歌山県における 2016 年のカツオひき縄春漁の経過と特徴	小林慧一	第 32 回 JAFIC 研究会（口頭発表）
・ VPA を用いた紀伊水道外域東部におけるイサキの資源評価	小林慧一 阪地秀男 ^{※4} 亘真吾 ^{※5}	平成 28 年度資源海洋調査研究会（口頭発表）
・ VPA を用いた紀伊水道外域東部におけるイサキの資源評価	小林慧一 阪地英男 ^{※4} 亘真吾 ^{※5}	黒潮の資源海洋研究(18)（論文投稿）
・ 和歌山県における 2016 年のカツオひき縄漁況	小林慧一	水産関係者との意見交換会 ～カツオの資源状態と海況予報をめぐって～

※1 オリジナルフィッシャリーズ、※2 東京海洋大学、※3 鹿児島大学、
※4 瀬戸内海区水産研究所、※5 中央水産研究所

(4) 委託事業報告書等刊行物

- 1) 漁海況速報（週刊）
- 2) 人工衛星画像海況速報（2016-No.38～143、2017-No.1～37）

(5)農林水産省研究会等資料

題 名	発 表 者	発 表 誌
・平成 28 年度国際資源対策推進委託事業第 1 回カツオ SU 推進検討会	小林慧一	平成 28 年度国際資源対策推進委託事業第 1 回カツオ SU 推進検討会資料
・平成 28 年度瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁海況予報会議	御所豊穂	平成 28 年度瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁海況予報会議資料
・平成 28 年度国際資源評価等推進委託事業第 3 回カツオ SU 推進検討会	小林慧一	平成 28 年度国際資源評価等推進委託事業第 3 回カツオ SU 推進検討会資料
・平成 28 年度中央ブロック資源評価会議および第 1 回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議	御所豊穂 原田慈雄 中地良樹	平成 28 年度中央ブロック資源評価会議および第 1 回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議資料
・平成 28 年度瀬戸内海ブロック資源評価会議	小林慧一 原田慈雄	平成 28 年度瀬戸内海ブロック資源評価会議資料
・平成 28 年度中央ブロック第 2 回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議、第 3 回資源評価調査担当者会議	原田慈雄 中地良樹 武田保幸	平成 28 年度中央ブロック第 2 回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議、第 3 回資源評価調査担当者会議資料
・平成 28 年度国際資源評価等推進委託事業年度末報告会	御所豊穂	平成 28 年度国際資源評価等推進委託事業年度末報告会資料
・平成 28 年度第 1 回サンマ資源漁海況検討会議	武田保幸	平成 28 年度第 1 回サンマ資源漁海況検討会議資料
・平成 28 年度第 2 回サンマ資源漁海況検討会議	武田保幸	平成 28 年度第 2 回サンマ資源漁海況検討会議資料
・ブリ類の疾病について	堅田昌英	ブリ類の疾病に関する講演会資料
・粘液胞子虫性やせ病原因虫の腸管部位別検出状況	堅田昌英	平成 28 年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会資料
・LAMP 法による粘液胞子虫性やせ病原因虫の検出	堅田昌英	平成 28 年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会資料
・養殖水産分野の薬剤耐性対策に係る説明会	堅田昌英	養殖水産分野の薬剤耐性対策に係る説明会資料
・平成 28 年度水産用医薬品薬事監視講習会	堅田昌英	平成 28 年度水産用医薬品薬事監視講習会資料
・粘液胞子虫性やせ病原因虫の腸管部位別検出状況	堅田昌英	平成 28 年度養殖衛生管理体制整備事業太平洋ブロック地域合同検討会資料
・ブリ類の難治癒疾病連絡協議会	堅田昌英	ブリ類の難治癒疾病連絡協議会資料
・粘液胞子虫性やせ病原因虫の腸管部位別検出状況	堅田昌英	平成 28 年度魚病症例研究会資料
・平成 28 年度養殖衛生管理技術者養成本科専門コース研修	堅田昌英	平成 28 年度養殖衛生管理技術者養成本科専門コース研修資料
・平成 28 年度養殖衛生管理技術者養成特別コース研修	堅田昌英	平成 28 年度養殖衛生管理技術者養成特別コース研修資料

・養殖水産物に使用する抗菌剤の今後の取り扱いに係る説明会	堅田昌英	養殖水産物に使用する抗菌剤の今後の取り扱いに係る説明会資料
・平成 28 年度全国養殖衛生管理推進会議	堅田昌英	平成 28 年度全国養殖衛生管理推進会議資料
・「沿岸海域水質・赤潮分布情報」説明会	堅田昌英	「沿岸海域水質・赤潮分布情報」説明会資料
・和歌山県における赤潮・貝毒発生状況および有害プランクトン調査結果	堅田昌英	平成 28 年度漁場環境保全関係研究開発推進会議 赤潮・貝毒部会資料
・平成 28 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部会藻類情報交換会	奥山芳生	平成 28 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議 生産環境部会・増養殖部会合同部会資料
・平成 28 年度水産増養殖関係研究開発推進会議養殖産業部会	奥山芳生	平成 28 年度水産増養殖関係研究開発推進会議養殖産業部会資料
・平成 28 年度磯焼け対策全国協議会	木下浩樹	平成 28 年度磯焼け対策全国協議会資料
・平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業（瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発）計画検討会議	北村章博	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業（瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発）計画検討会議資料
・平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業（瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発）結果検討会議	北村章博	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業（瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発）結果検討会議資料
・平成 28 年度河川及び海域での鰻来遊・生息調査事業計画検討会	林寛文	平成 28 年度河川及び海域での鰻来遊・生息調査事業計画検討会資料
・平成 28 年度河川及び海域での鰻来遊・生息調査事業報告会	林寛文	平成 28 年度河川及び海域での鰻来遊・生息調査事業報告会資料
・近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会	河合俊輔	近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会資料
・平成 28 年度アユの疾病研究部会	河合俊輔	平成 28 年度アユの疾病研究部会資料
・平成 28 年度アユ資源研究部会	高橋芳明	平成 28 年度アユ資源研究部会資料

(6)新聞掲載

記事見出し（内容）	掲載年月日	掲載紙名
・カツオ資源管理急務	2016.4.7	読売新聞
・不漁傾向で2.2トン	2016.4.10	紀伊民報
・ブダイの生態調査	2016.5.12	紀伊民報
・不漁続く和歌山養殖業で盛り返し	2016.5.16	産経新聞
・ヒジキ順調に回復	2016.6.5	紀伊民報
・もっと関西 ～遡上数、初の500万匹超え 紀の川のアユとともに(1)～	2016.7.19	日本経済新聞
・メタンハイドレート調査 ～県串本町潮岬沖で開始～	2016.7.23	紀伊民報

・スマ商業養殖へ前進	2016.9.5	みなと新聞
・完全養殖魚を初出荷へ ～世界初「幻の高級魚」スマ～	2016.9.30	紀伊民報
・インサイド和歌山 ～ライバル愛媛と”切磋琢磨”～	2016.10.10	産経新聞
・完全養殖スマ 大阪で販売	2016.10.14	読売新聞
・美味「スマ」食べる	2016.11.18	紀伊民報
・アマゴの発眼卵を放流	2016.12.5	紀伊民報
・和歌山この1年 ～1月「幻の魚」養殖スマの販売を開始～	2016.12.28	産経新聞
・潮位で暖水の流れ検知	2017.2.9	紀伊民報
・熊野灘サンマ消えた	2017.2.10	読売新聞
・釣っとコラム ～イサキ、タチウオの体成分～	2017.2.24	紀伊民報
・紀州黒潮の半島 ～黒潮の動き追いかけて～	2017.2.24	朝日新聞
・海水温低いとアユが増加	2017.3.31	日高新報

(7) 研究発表会

1) 県内養殖衛生対策会議

・実施日

平成 28 年 11 月 25 日

・場 所

水産試験場学習ホール

・内 容 (発表題目, 発表者)

・粘液胞子虫性やせ病原因虫の腸管部位別検出状況	増養殖部	堅田昌英
・LAMP 法による粘液胞子虫性やせ病原因虫の検出	増養殖部	堅田昌英
・水産用医薬品の適正使用について	増養殖部	堅田昌英
・水産用抗菌剤の適正使用確保のための仕組みについて	増養殖部	堅田昌英
・漁業者自ら実践できるナマコの種苗生産・放流方法 について	増養殖部	白石智孝
・和歌山県における栽培漁業について	増養殖部	加藤文仁
・串本浅海・うらみ養殖場の漁場環境について	増養殖部	北村章博

2) 内水面養殖衛生対策会議

・実施日

平成 28 年 11 月 11 日

・場 所

内水面試験地会議室

・内 容

- ・疾病検査状況について
- ・水産用抗菌剤の適正使用確保のための仕組みについて

(8) 水産試験場成果発表会

・実施日

平成 29 年 2 月 9 日

・場 所

紀南文化会館小ホール(田辺市)

・共催

公益財団法人わかやま産業振興財団

・内容(講演及び発表題目, 講演者及び発表者)

基調講演 「カツオ資源の現状と春漁予測の試み」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

かつお・まぐろ資源部長 西田 宏氏

成果発表

- ・浮魚の魚群速報発信にむけて 資源海洋部 原田慈雄
- ・VPAを用いた紀伊水道外域東部におけるイサキの資源評価 資源海洋部 小林慧一
- ・和歌山県3海域におけるアサリ生育状況の比較 増養殖部 北村彰博
- ・アユ資源に影響を及ぼす環境要因 内水面試験地 高橋芳明

2 研修生・見学者の受け入れ

(1) 研修生の受け入れ

1) 地域社会体験研修

潮岬中学校教諭 (1名) 7月27日 ~ 7月28日

2) インターンシップ

該当なし

3) 職場体験学習

大島中学校 (1名) 8月24日 ~ 8月26日

西向中学校 (1名) 8月24日 ~ 8月26日

串本西中学校 (1名) 9月14日 ~ 9月16日

串本中学校 (2名) 10月18日 ~ 10月20日

串本古座高校 (1名) 2月7日 ~ 2月8日

(2) くろしおふれあい講座

1) 参加者

県下12小学校, 2中学校の計332名の参加

2) 内容

水産試験場概要説明, 和歌山の漁業に関する説明, 海藻の分類, 見学

(3) 研修生・見学者の一覧

月	漁業関係		学校関係		行政関係		県民一般		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	15	23	3	218	3	7	9	11	30	259
5	20	31	1	1	7	19	2	3	30	54
6	17	21	4	180	11	21	2	4	34	226
7	10	10	6	134	3	27	6	14	25	185
8	27	33	7	24	10	12	8	20	52	89
9	24	42	8	80	3	6	4	8	39	136
10	17	37	9	931	3	93	1	2	30	1,063
11	9	92	1	250	4	18	6	168	20	528
12	9	17	2	146	2	35	5	146	18	344
1	10	12	1	3	3	5	2	45	16	65
2	10	14	1	5	5	77	2	3	18	99
3	13	16	1	3	4	12	5	41	23	72
計	181	348	44	1,975	58	332	52	465	335	3,120